

EZP1 ヘッドクリーナー

取付け方法・操作方法・ メンテナンスマニュアル



EZP1 ヘッドクリーナー

製造番号: _____

購入日: _____

販売元: _____

取付け日: _____

製造番号の情報は、インパクトベッドに同梱されている情報シートに記載されている製造番号ラベルに記載されています。

この情報は、交換部品、仕様、問題解決に関する今後のお問い合わせやご質問の際にお役立てください。

目次

セクション 1 – 重要な情報.....	4
1.1 はじめに.....	4
1.2 ご利用上の利点.....	4
1.3 サービスオプション.....	4
セクション 2 - 安全上の注意と予防措置.....	5
2.1 コンベヤ停止時.....	5
2.2 コンベヤ稼働時.....	5
セクション 3 – 取付け前の点検およびオプション.....	6
3.1 確認項目.....	7
3.2 クリーナー位置の調整.....	7
セクション 4 – 取付け方法.....	8
セクション 5 – 稼働前の確認事項およびテスト.....	11
5.1 稼働前の確認事項.....	11
5.2 コンベヤの試運転.....	11
セクション 6 – メンテナンス.....	12
6.1 初回設置時の検査.....	12
6.2 目視での定期検査.....	12
6.3 分解を伴う定期検査.....	12
6.4 ブレード交換方法.....	13
6.5 メンテナンスの記録.....	15
6.6 クリーナーのメンテナンスチェックリスト.....	16
セクション 7 – トラブルが起きた場合.....	17
セクション 8 – 仕様およびCAD図面.....	18
8.1 EZP1 ヘッドクリーナー CAD図面(-50 & -200).....	19
8.2 EZP1 高温対応ヘッドクリーナー CAD図面(-50 & -200).....	20
セクション 9 – 交換部品.....	21
セクション 10 – その他のFlexcoコンベヤ用製品.....	23

セクション 1 – 重要な情報

1.1 はじめに

お使いのコンベヤシステムにEZP1ヘッドクリーナーをお選びいただき誠にありがとうございます。

本マニュアルでは本製品の操作方法をお読みになり、長期の製品の運用年数でご使用いただき、最大の効果を発揮させるためにお役立てください。

安全かつ効率的に製品を仕様するには、こちらに記載している情報とガイドラインをよくご理解していただいた上で作業を行ってください。

本マニュアルに記載されていない問題やご質問がありましたら、当社のホームページをご覧ください。か、またはカスタマーサービスにお問い合わせください。

サイトリンク:<https://flexco.sg/SG/JA/Flexco.htm>

本マニュアルをよくお読みいただき、システムの取付け、操作、運用およびメンテナンスを直接担当される方にお渡しください。取付けや保守作業は簡単に行えるように設計しておりますが、**最大限の性能を維持するためには正しい取付けと定期的な検査・調整が必要です。**

1.2 ご利用上の利点

正しい設置と定期的なメンテナンスを行うことにより、今後の使用にあたり、以下の利点があります。

- コンベヤのダウンタイムの削減
- 労働時間の削減
- メンテナンスコストの削減
- ベルトクリーナーおよび他のコンベヤ部品の長寿命化

1.3 サービスオプション

EZP1は現場の担当者が簡単に設置・修理できるように設計されています。取付け・修理に関するお問い合わせはFlexcoスタッフまたはFlexco製品取扱代理店にお問い合わせください。

セクション 2 - 安全上の注意と予防措置

EZP1を取付け、操作する前に以下の安全情報を確認、ご理解いただく必要があります。

停止中のコンベヤと稼働中のコンベヤのそれぞれに、取付け、メンテナンスおよび操作の異なった作業と安全手順があります。

2.1 コンベヤ停止時

コンベヤ停止時に以下の作業を行なってください。

- 取付け • ブレード交換 • 修理
- テンション調整 • 清掃

⚠ 危険

上記の作業を行う前に、OSHA/MSHA ロックアウト/タグアウト (LOTO) 規則 (9 CFR 1910.147) に従うことが不可欠です。LOTO に従わない場合、コンベヤベルトの移動に起因するインパクトベッドの制御不能により、重傷または死亡に至る可能性があります。

稼働前:

- コンベヤの電源をロックアウト/タグアウトする
- テークアップ (ベルトのテンション) を解除する
- コンベヤベルトまたはクランプが安全な場所にあるか確認する

⚠ 警告

以下の個人用保護具(PPE)を使用してください。

- 保護メガネ
- ヘルメット
- 作業靴

近接した場所や重い部品は、作業員の目や足、頭に危害が加わる恐れがあります。

コンベヤベルトで生じる可能性のある危険を管理するために、必ずPPE個人用保護具を着用してください。

2.2 コンベヤ稼働時

コンベヤ作動中は以下の作業を定期的に必ず行なってください。

- クリーニング性能の検査
- 動作における異常等の確認

⚠ 危険

すべてのコンベヤが稼働している際、指や手が挟まれる危険性があります。作動中のインパクトベッドには絶対に触れないでください。コンベヤの安全性に問題がある場合、瞬時に手足が切断される可能性があります。

⚠ 警告

ベルトクリーナーは搬送物を飛散する場合があります。ご利用の際はできる限り、クリーナーから離れ、保護メガネおよびヘルメットを着用してください。飛散物により重傷を負う可能性があります。

⚠ 警告

作動中のクリーナーでは、いかなる場合でも絶対に調整を行わないでください。ベルトの突起と裂けがクリーナーに挟まれますと、クリーナー自体が激しく動くことがあります。本体の激しい異常な揺れにより部品が外れ、重傷または死亡する可能性があります。

セクション 3 – 取付け前の点検およびオプション

3.1 確認項目

- クリーナーのサイズがベルトラインの幅に合っていることを確認する
- ベルトクリーナーの梱包の中を確認し、すべての部品が含まれていることを確認する
- 取付け方法の上部に同封している「必要な工具」リストを確認する
- コンベヤでの設置場所を確認する
 - クリーナーはシュート上に取付けられるか
 - ヘッドプーリに直接取付ける際、取付け構造が必要か
 - クリーナーの位置調整が必要となる障害物はないか

セクション 3 – 取付け前の点検およびオプション (続)

3.2 クリーナー位置の調整

特定の用途では、所定の位置に設置を妨げる障害物により、クリーナーポールの位置を変更する必要があります。ポールの位置を移動することは可能で、「C」寸法を維持する限り、クリーナーの性能に影響を与えません。

注意: 以下の例では、ポール位置を「Y」方向に下げますが、同じ方法を「X」方向にも適用できます。

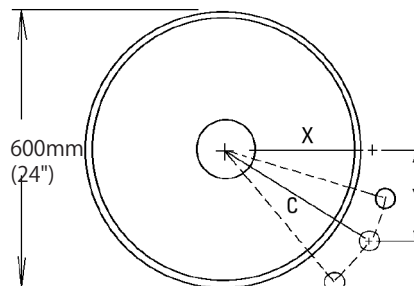
コンベヤの状況:

プーリー直径: 600mm (24")

X = 300mm (12")

Y = 225mm (9")

C = 375 (15")



1. 位置寸法の確認と変更の定義します。与えられたXおよびYの寸法をレイアウトし、ポールとテンションシステムに十分な隙間を確保するために必要な変更距離を決定します。(例では、支持構造を避けるためにポールを50mm下げています。)
2. 既知の寸法の記録します。必要な3つの寸法のうち2つが分かっているため、残りの1つを計算できます。「C」寸法は変更できないため、そのまま維持されます。また、「Y」寸法を50mm下げる必要があるため、指定された「Y」寸法に50mmを追加します。

X = ?"

Y = 225 + 50 = 275mm (9 + 2 = 11")

C = 375mm (15")

3. 最終寸法を決定します。垂直な平面上で、水平線と垂直線を使い、直角三角形を作成します。(図3a) 交点から「Y」寸法分下方に測定してマークをつけます。(図3b) 巻尺をその「Y」の修正マークから開始し、「X」線に沿って「C」寸法をスイングさせ、「X」線と交差する点をマークします。(図3c) 交点から「C」の交差点まで測定すると、それが新しい「X」寸法になります。(図3d)

X = 255mm (10 1/4")

Y = 275mm (11")

C = 375mm (15")

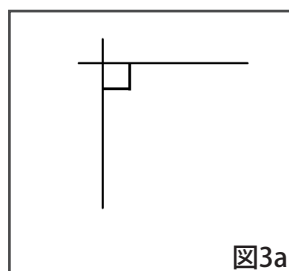


図3a

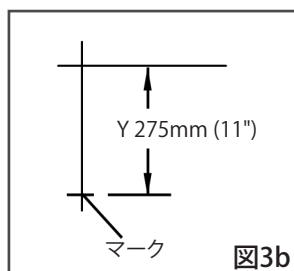


図3b

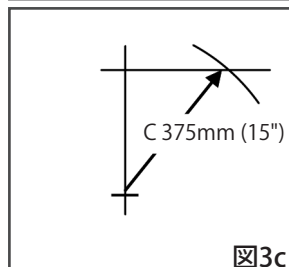


図3c

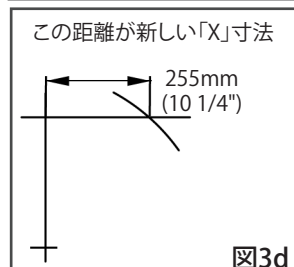
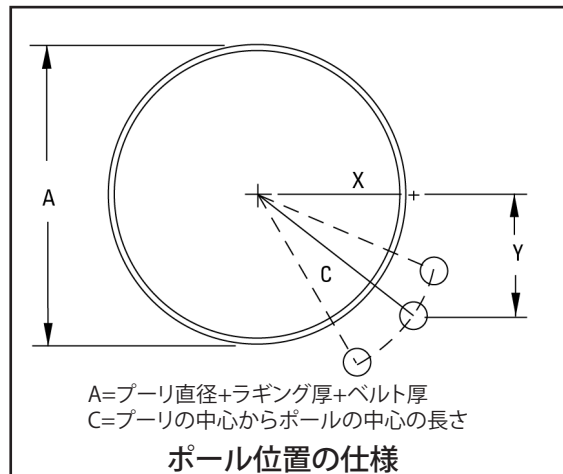
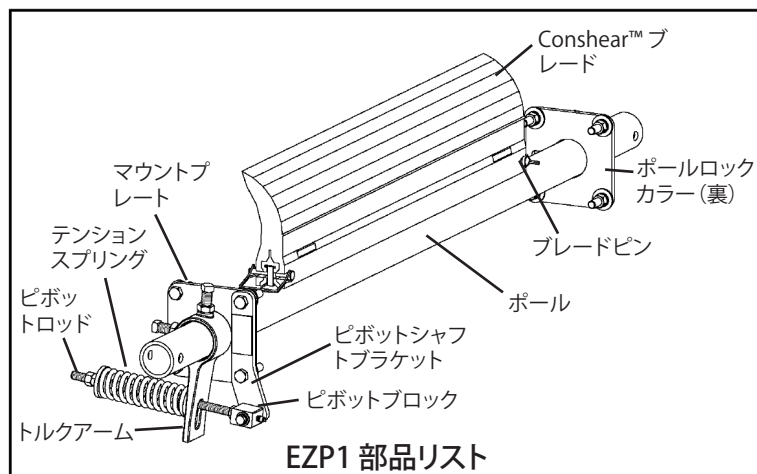


図3d

セクション4 – 取付け方法

4.1 EZP1 ヘッドクリーナー



クリーナーの取付けを開始する前に、コンベヤの電源を物理的にロックアウトし、タグを付けてください。

必要な工具:

- 13mm レンチ
- 16mm レンチ
- 19mm レンチ
- 22mm レンチ

または

- 大型の調整可能レンチ (×2)
- 切断トーチ (必要な場合)
- 溶接機 (必要な場合)

• メジャー

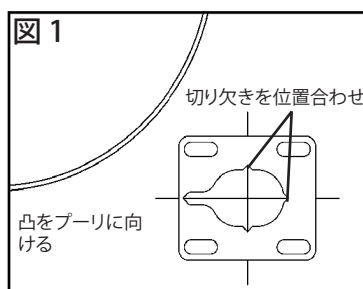
• 水平器

• マーキングペンまたはチョーク

設置仕様および手順は、コンベヤが作業位置 (角度) にあることを前提としています。コンベヤの角度が異なる場合、クリーナーは最終位置に基づいて設置する必要があります。適切な座標の決定に関してサポートが必要な場合は、Flexcoまでお問い合わせください。

1. 正しいポール位置を特定します。寸法Aを測定して確認します (上記の指示を参照)。右側のポール位置チャートから寸法Aに該当する寸法X、Y、およびCを確認します。プーリーシャフトの中心から水平方向に寸法Xを測り、印をつけます。その印から長い垂直線を下に引き、寸法Yを測定してマークします。これがクリーナーポールの中心位置を示します。両側も測定してマークします。注意: 設置位置が障害物で塞がれている場合は、寸法Cを使い、プーリーシャフトの中心から弧を描いて障害物のない開けた位置を探します。ポールを正確に位置決めするために寸法Cは一定に保つ必要があります (上図を参照)。注意: 障害物のないヘッドプーリーに取り付ける場合、まず構造に取付けサポート材を追加してください。
2. マウントプレートを使用した穴のマークと切断します。提供されているマウントプレートテンプレートを使用し、ポールがアクセスする大きな穴をシュート上に配置します。穴の切り欠き部分をレイアウト線に合わせ、凸をプーリー方向に向けます。ポールを通す穴と四つの取付け用の穴をペンで線を引き、線に沿って穴を切断します。(図1) もう片側も同じように行なってください。

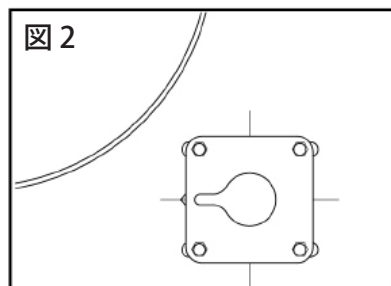
注意: 穴の切り欠きは、後で調整が必要な場合に備えてスロット状になっています。



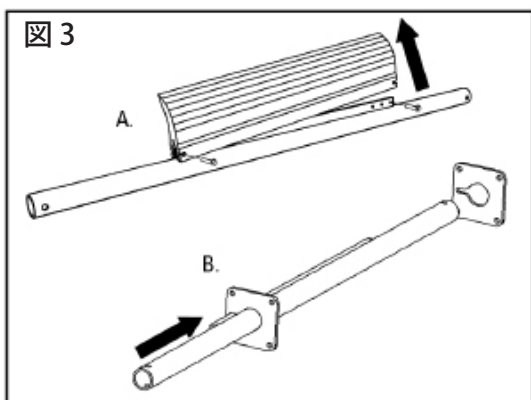
ポール位置の表

A	X	Y	C
250	74	230	242
275	92	230	248
300	108	230	254
325	131	230	265
350	146	230	273
375	166	230	284
400	179	230	291
425	195	230	301
450	207	230	309
475	223	230	320
500	235	230	329
525	249	230	339
550	266	230	352
575	283	230	365
600	299	230	377
625	314	230	390
650	330	230	402
675	346	230	415
700	360	230	427
725	374	230	439
775	389	230	452
775	403	230	464
825	417	230	477
825	432	230	489
850	446	230	501
875	460	230	514
900	474	230	526

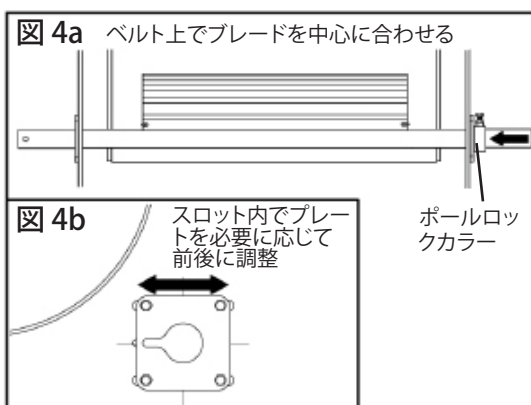
セクション4 – 取付け方法（続）



3. マウントプレートを取付けます。付属のボルトを使用して、マウントプレートをシャフトにボルトで取付けます。スロット穴にプレートを中心で合わせ、ボルトを締め付けます。(図2)後に調整する場合は、仮止めにしてください。



4. ポールを取付けます。両方のブレードピンとブレードをポールから取り外し、ポールをマウントプレートを通して挿入します。(図3)

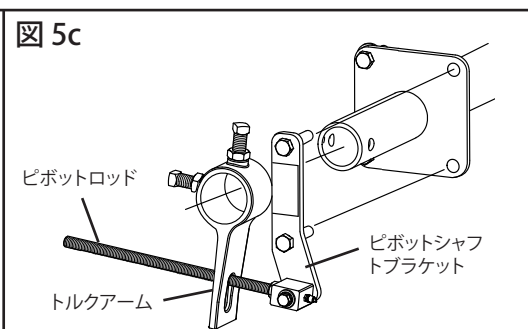
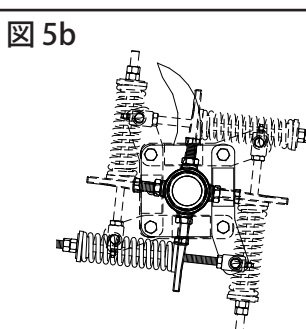
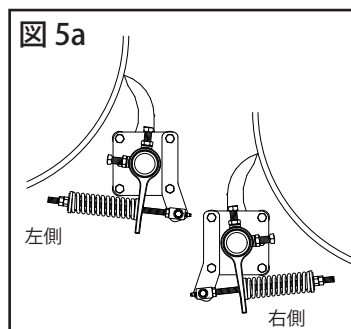


5. クリーナーをベルト上で中央に配置し、所定の位置にロックします。次に、両方のブレードピンでブレードを再取り付けします。ブレードをベルト上で中心に揃え、ポールロックカラーをポールに取付けます(テンショナーを設置する端とは反対側の端に取り付け)、マウントプレートまでしっかりと締めます(図4a)。ブレードをベルトに押し当て、ブレードがプーリー面に対して直角であることを確認します。もし直角でない場合、一方のマウントプレートを緩め、プレートを前後に調整してブレードをプーリーに対して直角にし、ボルトを再度締め付けます。(図4b)

注意: テンショナーは、ヘッドプーリーを正面から見たときに左側への取付け用に組み立てられています。右側への取付けをご希望の場合、いくつかの再組立てが必要です。詳細な手順については、テンショナー部品に同梱されているESTテンショナーカードを参照してください。

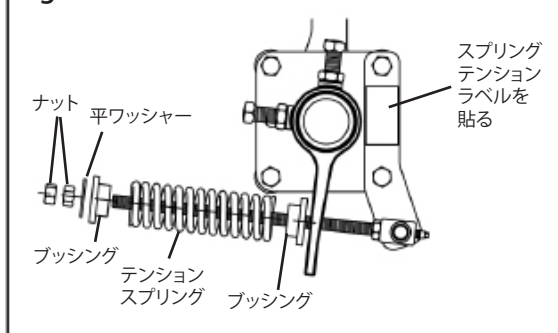


6. テンショナーを取付けます。希望する取付け側と位置を決定します。(図5a) (テンショナーは図5bのようにポールを中心に360°の位置にも取り付け可能です) 次に、ピボットシャフトブラケットを取り付けるために必要な2つのマウンティングプレートボルトを取り外します。トルクアームのスロット穴を通してピボットロッドを挿入し、2つの部品を一緒にポールにスライドさせます。提供された長いボルトを使用して、ピボットシャフトブラケットをマウンティングプレートに取り付け、しっかりと締め付けます。(図5c)



セクション4 – 取付け方法 (続)

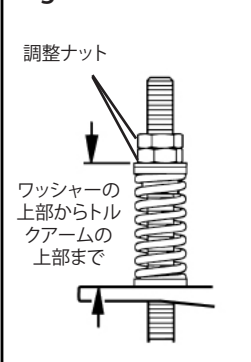
Fig. 6a



ブレード張力の表

ブレード幅		紫色スプリング		シルバースプリング		黒色スプリング	
mm	in.	mm	in.	mm	in.	mm	in.
250	10"	146	5 3/4"	159	6 1/4"	N/A	N/A
400	16"	133	5 1/4"	152	6"	N/A	N/A
550	22"	121	4 3/4"	149	5 7/8"	N/A	N/A
700	28"	108	4 1/4"	143	5 5/8"	N/A	N/A
850	34"	N/A	N/A	137	5 3/8"	143	5 5/8"
1000	40"	N/A	N/A	130	5 1/8"	140	5 1/2"
1150	46"	N/A	N/A	127	5"	133	5 1/4"
1300	52"	N/A	N/A	121	4 3/4"	130	5 1/8"
1450	58"	N/A	N/A	N/A	N/A	127	5"
1600	64"	N/A	N/A	N/A	N/A	121	4 3/4"
1750	70"	N/A	N/A	N/A	N/A	117	4 5/8"

Fig. 6b



7. ブレードの張力を設定します。まず、テンショナーを組み立てます。スプリングとブッシングをピボットロッドにスライドさせ、その後に大きなワッシャーと2つのテンションナットを取り付けます。(図6a) ナットをピボットロッドにねじ込んで、端に25mmが露出するようにします。ポールを回転させて、ブレードがプーリーに接触するまで調整します。トルクアームをスプリングに引き上げながら、トルクアームをポールに締め付けます。スプリングの長さを決定した長さに設定します。(図6b) 同梱のスプリングテンションラベルをピボットシャフトのブラケットに所定の位置に貼り付けます。

図 7a

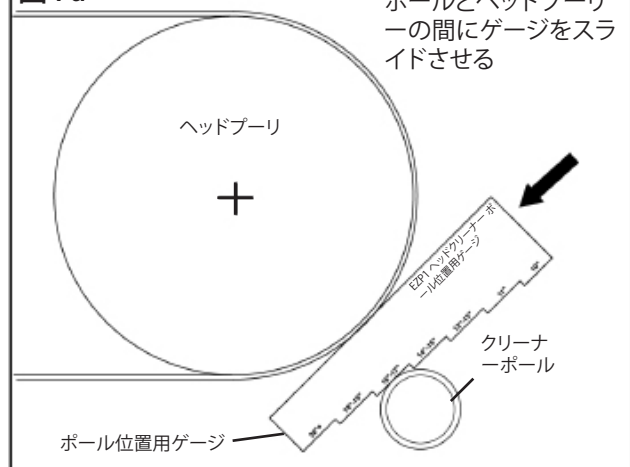
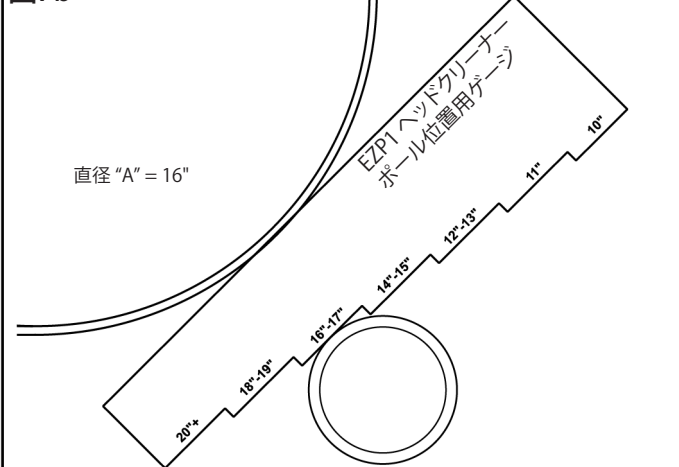


図7b



8. ポール位置を確認します。クリーナーが取り付けられた後、同梱のポール位置用ゲージをクリーナーポールとプーリーの上にスライドさせ、ゲージが引っかかるまでスライドさせます。(図7a) ポールが接している平らな部分を読み取ります。(図7b) この直径は、ステップ1で使用した「直径A」と一致している必要があります。

注意: ポール位置ゲージの直径がステップ1と異なる場合、「C」寸法を確認し、必要に応じて修正してください。

クリーナーを試運転し、性能を点検します。振動が発生する場合や、より高い清掃効率をご希望の場合は、必要な張力調整を行ってください。

セクション 5 – 稼働前の確認事項およびテスト

5.1 稼働前の確認事項

- すべてのファスナーが正しく締め付けられていることを再確認する
- ポールキャップを取り付ける
- 提供されたすべてのラベルをクリーナーに貼付する
- ベルト上のブレード位置を確認する
- ベルトとコンベヤエリアからすべての取付け部材と工具が取り除かれていることを確認する

5.2 コンベヤの試運転

- コンベヤを少なくとも15分間運転し、清掃性能を確認する
- テンショナーのスプリングが推奨される長さに設定されていることを確認する（適切な張力調整）
- 必要に応じて調整を行う

注意：クリーナーの運転中に正常に動作しているかを観察していただくことで、後の問題発生や調整が必要になる前の、早期発見に繋がります。

セクション6 – メンテナンス

Flexco®のベルトクリーナーは、最小限のメンテナンスでお使いいただけるよう設計されていますが、優れた性能を維持するには、定期的な整備が必要です。クリーナーを取り付けた際、定期的な点検計画を設定する必要があります。この点検計画により、クリーナーが最適な性能で動作し、クリーナーが機能不全になる前に問題を特定し、修理するためのものです。

機器（停止中・作動中にかかわらず）の検査に関する安全手順はすべて順守する必要があります。EZP1ヘッドクリーナーは、コンベヤのシュート部分で動作し、走行中のベルトと直接接触しています。ベルトの走行中は、目視での点検が可能です。保守点検の際、コンベヤを停止した後、正しいロックアウト/タグアウトの手順を順守して行ってください。

6.1 初回設置時の検査

新しいクリーナーを数日間使用した後、目視検査を行ってクリーナーが適切に機能していることを確認する必要があります。また必要に応じて調整を行います。

6.2 目視での定期検査（2～4週間おき）

クリーナーとベルトの目視検査で以下を確認してください。

- ・スプリングの長さが最適な張力での正しい長さであるか
- ・ベルトがきれいに見えるか、極度に汚れている箇所がないか
- ・ブレードが摩耗しているか、交換する必要があるか
- ・ブレードまたはクリーナーの他の部分に損傷がないか
- ・クリーナーや搬送エリアに搬送物が堆積していないか
- ・ベルト表面に損傷がないか
- ・クリーナーがベルトで振動したり跳ねたりしていないか
- ・スナブプーリを使用している場合は、プーリに汚れが堆積していないか

上記の条件が1つでも当てはまる場合は、コンベヤを停止しクリーナーのメンテナンスを行う必要があります。

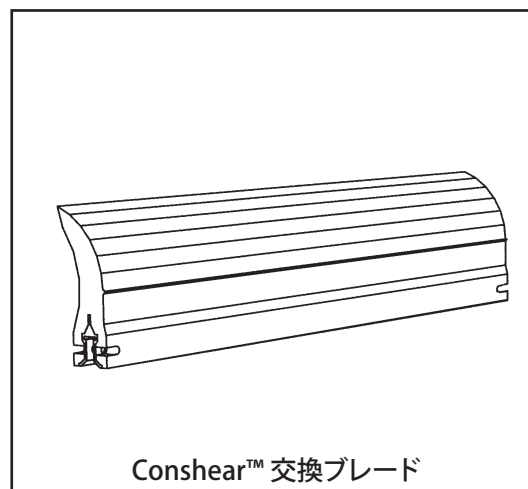
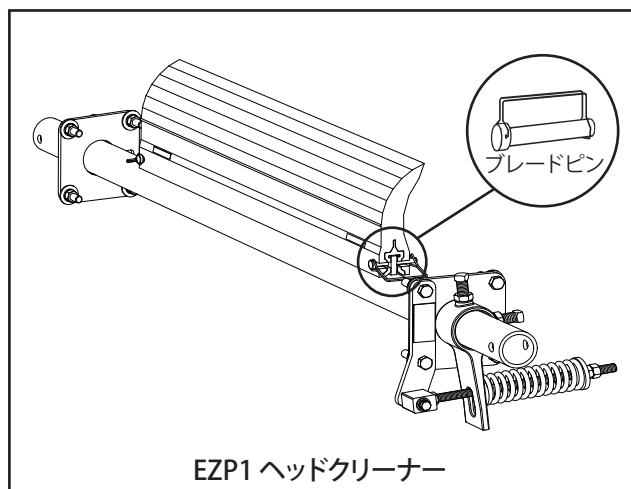
6.3 分解を伴う定期検査（6～8週間おき）

コンベヤが稼動しておらず、適切に施錠され、タグをつけた後、クリーナーの物理的な点検を行い、以下の作業を行います。

- ・クリーナーブレードとコンベヤフレームから付着した搬送物を取り除く
- ・ブレードの摩耗や損傷がないかを入念に点検し、必要に応じて交換する
- ・両方のブレードピンが適切に取り付けられ、良好な状態であることを確認し、必要に応じて交換する
- ・ブレードがベルトに完全に接触していることを確認する
- ・クリーナーポールに損傷がないか点検する
- ・すべてのファスナーの締め付け具合や摩耗を点検し、必要に応じて締め直すか交換する
- ・摩耗または損傷している部品を交換する
- ・クリーナーブレードとベルトのテンションを確認し、必要に応じてクリーナーやページ8の表を使用して調整する
- ・メンテナンス作業が完了したら、コンベヤを試運転し、クリーナーが正常に機能していることを確認する

セクション 6 – メンテナンス (続)

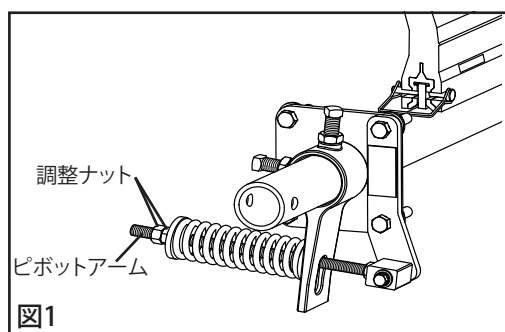
6.4 ブレード交換方法



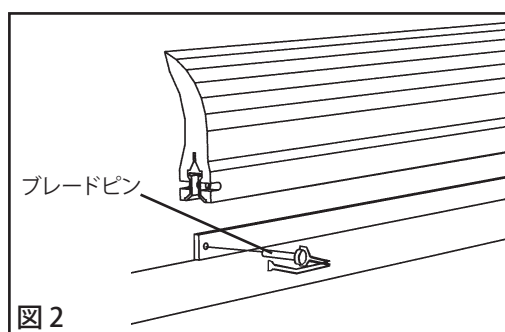
クリーナーの取付けを開始する前に、コンベヤの電源を物理的にロックアウトし、タグ付けます。

必要な工具:

- メジャー
- (2) 38mmのレンチまたはモンキーレンチ
- ワイヤブラシ (ポールの清掃用)
- 小型パテナイフ (ポールの清掃用)



1. テンションを解除します。両側の調整ナットを緩め、ピボットアームの端と面一になるまで回します。(図1)これにより、ブレードのベルトに対するテンションが解除されます。

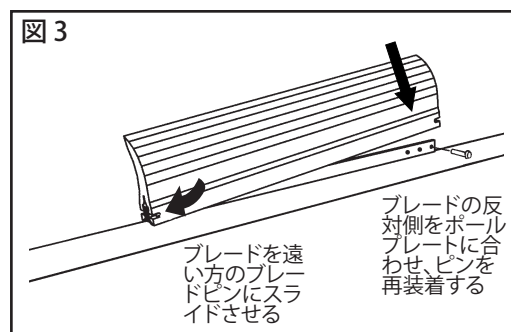


2. 摩耗したブレードを取り外します。片方のブレードピンを取り外し、ブレードをポールから外します。(図2) ポールの附着物をすべて清掃してください。

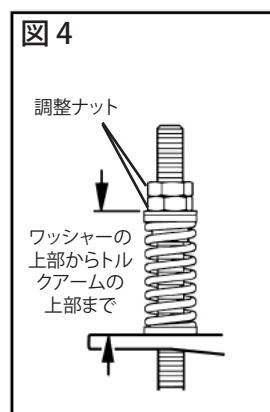
注意: ブレードが外しにくい場合は、ドライバーやハンマーを使用して緩めてから取り外してください。

セクション6 – メンテナンス (続)

6.4 ブレード交換方法



3. 新しいブレードを取り付けます。新しいブレードをポールにスライドさせ、遠い方のブレードピンにロックします。その後、取り外したブレードピン、ワッシャー、クリップを再装着します。(図3)



ブレード張力の表

ブレード幅		紫色スプリング		シルバースプリング		黒色スプリング	
mm	in.	mm	in.	mm	in.	mm	in.
250	10"	146	5 3/4"	159	6 1/4"	N/A	N/A
400	16"	133	5 1/4"	152	6"	N/A	N/A
550	22"	121	4 3/4"	149	5 7/8"	N/A	N/A
700	28"	108	4 1/4"	143	5 5/8"	N/A	N/A
850	34"	N/A	N/A	137	5 3/8"	143	5 5/8"
1000	40"	N/A	N/A	130	5 1/8"	140	5 1/2"
1150	46"	N/A	N/A	127	5"	133	5 1/4"
1300	52"	N/A	N/A	121	4 3/4"	130	5 1/8"
1450	58"	N/A	N/A	N/A	N/A	127	5"
1600	64"	N/A	N/A	N/A	N/A	121	4 3/4"
1750	70"	N/A	N/A	N/A	N/A	117	4 5/8"

4. 正しいブレードのテンションを再設定します。ベルト幅に必要なスプリングの長さについては表を参照してください。ピボットアームをトルクアームのスロットのポールに最も近い端に向かって軽く引き、調整ナットを回して必要なスプリングの長さに調整します(図4)。

注意: このチャートは再テンション調整のメンテナンスのため、クリーナーのピボットシャフトブラケットにも記載されています。

コンベヤを試運転します。コンベヤを数分間作動させ、ベッドが正しく作動しているか点検します。必要に応じて調整してください。

セクション6 – メンテナンス(続)

6.5メンテナンスの記録

コンベヤ名/番号 _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

セクション6 – メンテナンス(続)

6.6クリーナーのメンテナンスチェックリスト

場所: _____ 検査担当: _____ 日付: _____

ベルトクリーナー: _____ 製造番号: _____

ブレード幅: ☐ ベルト幅から-50mm ☐ ベルト幅から-200mm ☐ ベルト幅から350mm

ベルトライン情報:

ベルトライン番号: _____ ベルトの情報: _____

☐ 450mm ☐ 600mm ☐ 750mm ☐ 900mm ☐ 1050mm ☐ 1200mm ☐ 1350mm ☐ 1500mm ☐ 1800mm

ベルト幅:

ヘッドプリー直径(ベルト厚とラギング厚を含む): _____ ベルト速度: _____ fpm ベルト厚: _____

エンドレス加工方法: _____ エンドレスの状態: _____ 接合部分の数: _____ ☐ 接合でのベルト表面削りあり ☐ なし

搬送物: _____

週あたりの稼働日数: _____ 1日の作動時間: _____

ブレードの寿命:

ブレード取付け日: _____ ブレード点検日: _____ 推定ブレード寿命: _____

ブレードはベルトと完全に接触していますか? ☐ はい ☐ いいえ

ブレードの高さ: 左 _____ 中央 _____ 右 _____

ブレードの状態: ☐ 良い ☐ 溝あり ☐ 中央が摩耗で歪曲 ☐ ベルト接触なし ☐ 損傷

スプリングの調整: 必要 _____ 調整済 _____

クリーナー調整の有無: ☐ はい ☐ いいえ

ボールの状態: ☐ 良い ☐ 歪曲 ☐ 損耗

ラギング: ☐ スライドラグ ☐ セラミック ☐ ゴム ☐ その他 ☐ 無し

ラギングの状態: ☐ 良い ☐ 悪い ☐ その他 _____

クリーナーの総合的な性能: (以下の各項目を1～5で評価、1 = 非常に悪い～5 = 大変良い)

外観: ☐ コメント: _____

位置: ☐ コメント: _____

メンテナンス: ☐ コメント: _____

性能: ☐ コメント: _____

その他のコメント: _____

セクション7 –トラブルが起きた場合

トラブル	考えられる原因	解決策
クリーニングの性能が不十分	クリーナーの張力不足	テンションを段階的に増加させて再評価する
	クリーナーの張力が強すぎる	テンションを段階的に減少させて再評価する
	クリーナーの取付け位置が正しくない	「C」寸法を確認し、正しい寸法に再配置する
	クリーナー ブレードの摩耗と損傷	クリーナー ブレードを交換する
ブレードの早期磨耗	クリーナーの張力が極端に強い または低い	張力を正しく調整する — スプリング長さの表を参照
	クリーナーの取付け位置が正しくない	正しい寸法で再配置する
	ブレードの当たる角度が違う	正しい寸法で再配置する
	過度に研磨性の高い素材	オプション: 重搬送用のブレードを使用すると改善できる場合があります
	ベルトファスナーがブレードを損傷している	ファスナーの修理、ベルトを削り、再度設置
ブレードの中央が過度の磨耗 (U字のような状態)	クリーナーの張力不足	テンションを段階的に増加させて再評価する
	クリーナーの張力が強すぎる	テンションを段階的に減少させて再評価する
ブレードの異常な磨耗、バリ、損傷	ベルトファスナーがブレードを損傷している	ファスナーの修理、ベルトを削り、再度設置
	ベルトの損傷または裂け	ベルトを修理または交換する
	クリーナーの取付け位置が正しくない	「C」寸法を確認し、正しい寸法に再配置する
	プーリまたはプーリ ラギングの損傷	プーリまたはラギングの修理または交換
振動または雑音	クリーナーの取付け位置が正しくない	ブレード、ブッシング、およびボールの堆積物を検査
	ブレードの当たる角度が違う	「C」寸法を確認し、正しい寸法に再配置する
	空のベルトを清掃している	水などでブレードを滑らせる
	クリーナーの張力が極端に強い または低い	正しい張力にする／徐々に張力を上げていく
	クリーナーのロックボルトがゆるい	すべてのボルトとナットを確認して締め直す
	クリーナーがヘッドプーリに対し直角でない	「C」寸法を確認し、正しい寸法に再配置する
	シュート内の堆積	クリーナーおよびシュート内の堆積物を取り除く
クリーナーがプーリから離されている	クリーナーの張力が正しくない	正しい張力にする／徐々に張力を上げていく
	粘着性の材料によりクリーナーに過度な負荷がかかっている	テンションを段階的に増加させて見直す
	クリーナーが正しく設置されていない	位置の寸法が両側で等しいことを確認する

セクション 8 – 仕様およびCAD図面

ボール長さ仕様

クリーナー幅		ボール幅		最大コンベヤ幅	
mm	in.	mm	in.	mm	in.
300	12	1050	42	925	37
450	18	1200	48	1075	43
600	24	1350	54	1225	49
750	30	1500	60	1375	55
900	36	1650	66	1525	61
1050	42	1800	72	1675	67
1200	48	1950	78	1825	73
1350	54	2200	88	2075	83
1500	60	2350	94	2225	89
1800	72	2650	106	2525	101

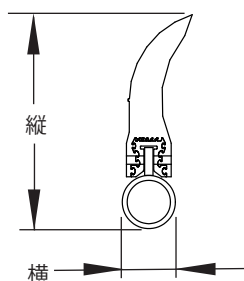
ボール直径 – 60mm



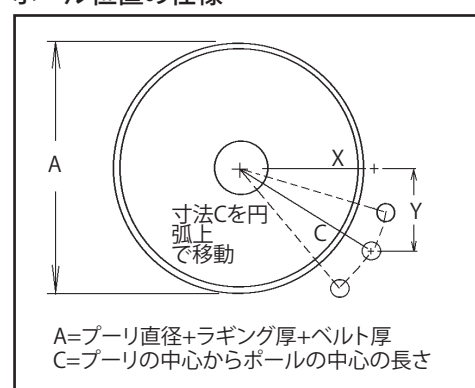
* 各ボールサイズは、ベルト幅 - 50mm、ベルト幅 - 200mm、ベルト幅 - 350mmのいずれかのブレードサイズで使用できます。

設置のためのクリアランスガイドライン

縦方向の必要スペース		横方向の必要スペース	
mm	in.	mm	in.
100	4	238	9 1/2



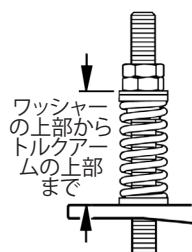
ボール位置の仕様



A=プーリ直径+ラギング厚+ベルト厚
C=プーリの中心からボールの中心の長さ

ブレード張力の表

ブレード幅		紫色スプリング		シルバーズスプリング		黒色スプリング	
mm	in.	mm	in.	mm	in.	mm	in.
250	10"	146	5 3/4"	159	6 1/4"	N/A	N/A
400	16"	133	5 1/4"	152	6"	N/A	N/A
550	22"	121	4 3/4"	149	5 7/8"	N/A	N/A
700	28"	108	4 1/4"	143	5 5/8"	N/A	N/A
850	34"	N/A	N/A	137	5 3/8"	143	5 5/8"
1000	40"	N/A	N/A	130	5 1/8"	140	5 1/2"
1150	46"	N/A	N/A	127	5"	133	5 1/4"
1300	52"	N/A	N/A	121	4 3/4"	130	5 1/8"
1450	58"	N/A	N/A	N/A	N/A	127	5"
1600	64"	N/A	N/A	N/A	N/A	121	4 3/4"
1750	70"	N/A	N/A	N/A	N/A	117	4 5/8"



ボール位置の表

A	X	Y	C
250	74	230	242
275	92	230	248
300	108	230	254
325	131	230	265
350	146	230	273
375	166	230	284
400	179	230	291
425	195	230	301
450	207	230	309
475	223	230	320
500	235	230	329
525	249	230	339
550	266	230	352
575	283	230	365
600	299	230	377
625	314	230	390
650	330	230	402
675	346	230	415
700	360	230	427
725	374	230	439
775	389	230	452
775	403	230	464
825	417	230	477
825	432	230	489
850	446	230	501
875	460	230	514
900	474	230	526

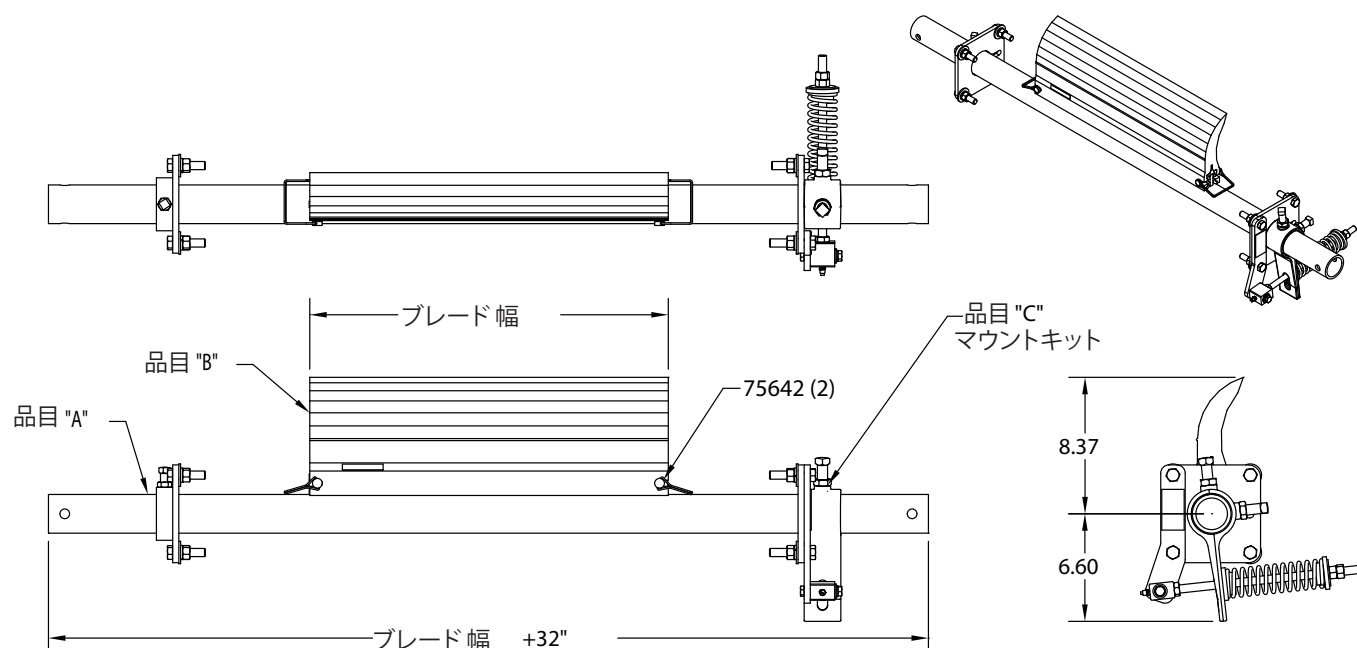
製品仕様:

- 最大ベルト速度 3.5m/700秒
- 温度範囲 35°C ~ 82°C
- 最小プーリ径 250mm
- ブレード高さ 185mm (7-1/4")
- 使用可能なブレード摩耗長 100mm
- ブレード素材 ポリウレタン (摩耗抵抗と長寿命のための独自ブレンド)
- 利用可能なベルト幅 300 ~ 1800mm
- CEMAクリーナー定格 (米国) クラス 3

U.S. Patent No. D482,508S

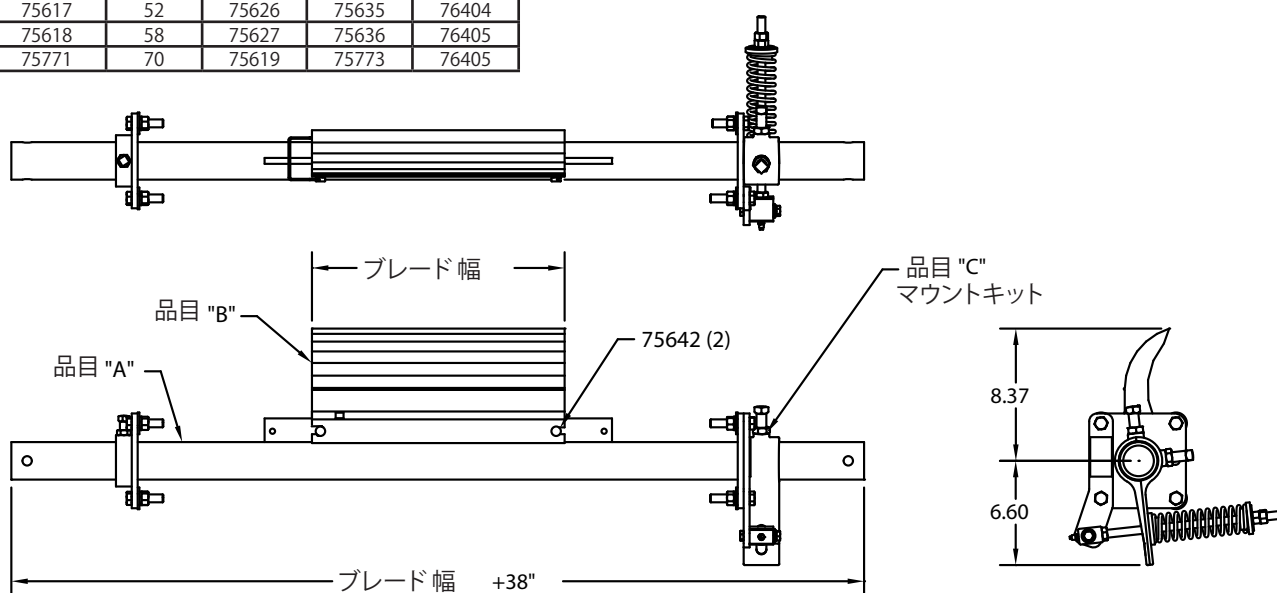
セクション 8 – 仕様およびCAD図面 (続)

8.1 EYP1 - ベルト幅より-50mm または-200mm



ASSY 番号	ブレード幅	品目 "A"	品目 "B"	品目 "C"
75610	10	75619	75628	76403
75611	16	75620	75629	76403
75612	22	75621	75630	76403
75613	28	75622	75631	76403
75614	34	75623	75632	76404
75615	40	75624	75633	76404
75616	46	75625	75634	76404
75617	52	75626	75635	76404
75618	58	75627	75636	76405
75771	70	75619	75773	76405

EYP1
ベルト幅 -50mm (2")

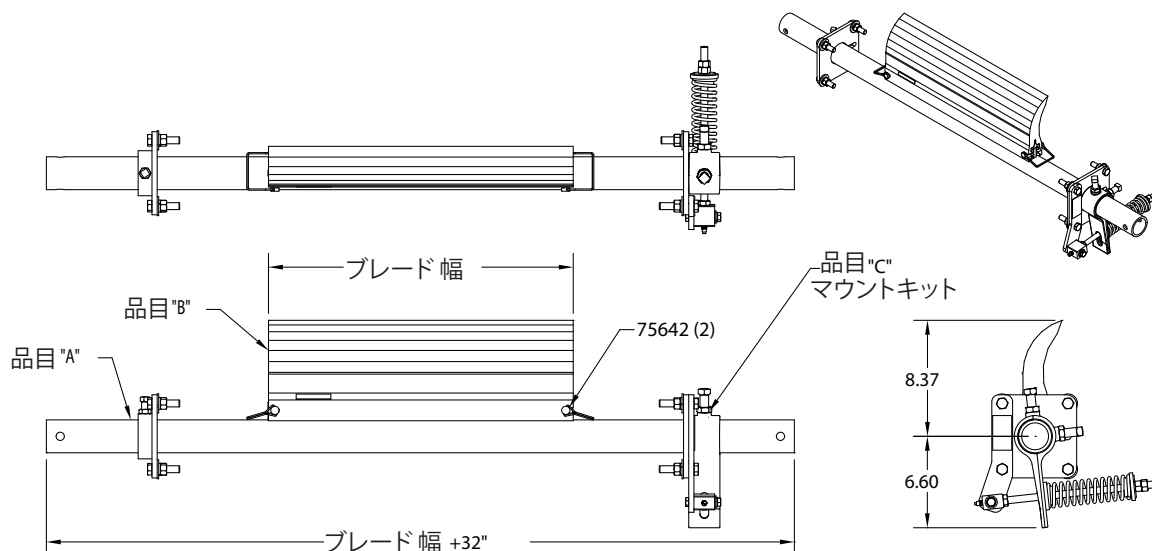


ASSY 番号	ブレード幅	品目 "A"	品目 "B"	品目 "C"
75779	10	75620	75628	76403
75780	16	75621	75629	76403
75781	22	75622	75630	76403
75782	28	75623	75631	76403
75783	34	75624	75632	76404
75784	40	75625	75633	76404
75785	46	75626	75634	76404
75786	52	75627	75635	76404
75774	64	75772	75775	76405

EYP1
ベルト幅 -200mm (8")

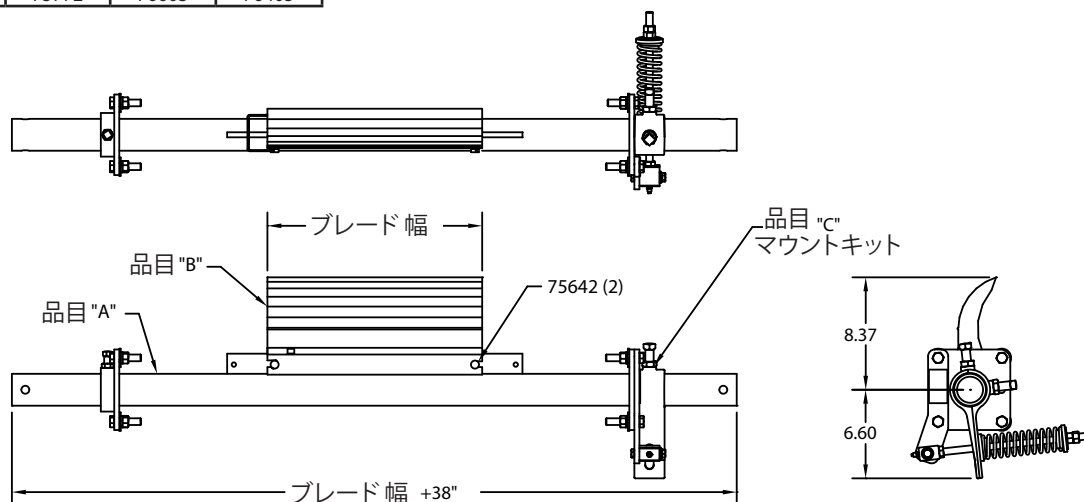
セクション 8 – 仕様およびCAD図面 (続)

8.2 EZP1 高温対応モデル - ベルト幅 - 50mm および - 200mm



ASSY 番号	ブレード 幅	品目 "A"	品目 "B"	品目 "C"
76658	10	75619	76593	76403
76659	16	75620	76594	76403
76660	22	75621	76595	76403
76661	28	75622	76596	76403
76662	34	75623	76597	76404
76663	40	75624	76598	76404
76664	46	75625	76599	76404
76665	52	75626	76600	76404
76666	58	75627	76601	76405
76667	70	75772	76603	76405

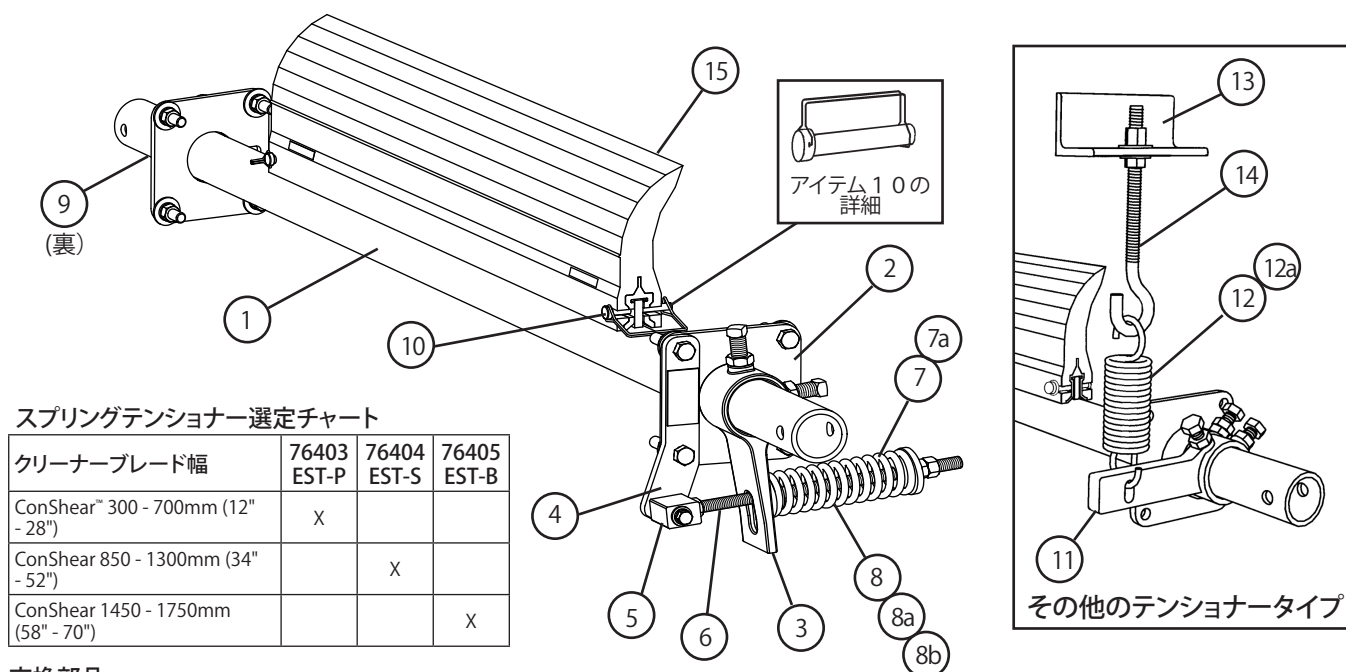
**EZP1 高温
ブレード幅 -50mm (2")**



ASSY 番号	ブレード 幅	品目 "A"	品目 "B"	品目 "C"
90817	10	75620	76593	76403
90818	16	75621	76594	76403
90819	22	75622	76595	76403
90820	28	75623	76596	76403
90821	34	75624	76597	76404
90822	40	75625	76598	76404
90823	46	75626	76599	76404
90824	52	75627	76600	76404
90825	64	75772	76602	76405

**EZP1 高温
ブレード幅 -200mm (8")**

セクション9 – 交換部品



交換部品

参照	説明	注文番号	品目コード	重量 Kg
1	300mm (12") ポール	EZP1P12	75619	7.9
	450mm (18") ポール	EZP1P18	75620	9.2
	600mm (24") ポール	EZP1P24	75621	10.3
	750mm (30") ポール	EZP1P30	75622	12.1
	900mm (36") ポール	EZP1P36	75623	13.8
	1050mm (42") ポール	EZP1P42	75624	14.9
	1200mm (48") ポール	EZP1P48	75625	16.1
	1350mm (54") ポール	EZP1P54	75626	17.8
	1500mm (60") ポール	EZP1P60	75627	19.7
	1800mm (72") ポール	EZP1P72	75772	21.9
2	マウンティングプレートキット* (各2点)	EZP1MPK	75637	3.5
3	トルクアームキット* (各1)	ESTAK-EST	76406	1.6
4	ピボットシャフトブラケット* キット (各1点)	ESPSBK	76407	0.8
5	ピボットブロックキット*	ESPBK	76408	0.3
6	ピボットロッドキット*	ESPRK	76409	0.6
7	プッシングキット - パープルとシルバー (プッシュ2個が含まれています)	ESBK-PS	76410	0.1
7a	プッシングキット - 黒 (プッシュ2個が含まれています)	ESBK-B	76411	0.1
8	テンションスプリング - 紫	QMTS-P	75845	0.5
8a	テンションスプリング - シルバー	ESS-S	76412	0.6
8b	テンションスプリング - 黒色	ESS-B	76413	0.6
9	ポールロック* (各1点)	EZP1PL	75641	0.5
-	ESTテンショナー - 紫* ベルト幅 12" - 28" (300 - 700mm) (各アイテム1点ずつ含む 3, 4, 5, 6, 7 & 8)	EST-P	76403	3.5
-	ESTテンショナー - シルバー* ベルト幅 34" - 52" (850 - 1300mm) (各アイテム1点ずつ含む 3, 4, 5, 6, 7 & 8a)	EST-S	76404	3.6
-	ESTテンショナー - 黒色* ベルト幅 58" - 70" (1450 - 1750mm) (各アイテム1点ずつ含む 3, 4, 5, 6, 7a & 8b)	EST-B	76405	3.7
10	ブレードピン (各1点)	EZP1BP	75642	0.1

*ハードウェア付属 米国出荷:1営業日

追加スプリングテンショナーおよび部品

参照	説明	注文番号	品目コード	重量 Kg
11	テンションアームキット* (各1点)	HARK	73069	2.7
12	テンションスプリング (各1点) for sizes 300 - 750mm (12" - 30")	STTS	74419	0.6
12a	重搬送用テンションスプリング (各1点) サイズ 900 - 1800mm (36" - 72")	HDT5	74502	0.9
13	スプリングテンション J-ボルトマウント (各1点)	STJM	74775	1.4
14	J-ボルトキット* (各1点)	STJK	74417	0.3
-	追加用スプリングテンショナー キット* サイズ300-750mm	EZP1OTK1	76418	5.1
-	追加用スプリングテンショナー キット* サイズ900-1800mm	EZP1OTK2	76419	5.4

*ハードウェア付属 米国出荷:1営業日

交換用Conshear™ブレード

参照	ブレード幅		注文番号	品目コード	重量 Kg
	mm	In.			
15	250	10	CRB10	75628	2.1
	400	16	CRB16	75629	3.3
	550	22	CRB22	75630	4.6
	700	28	CRB28	75631	5.8
	850	34	CRB34	75632	7.0
	1000	40	CRB40	75633	8.3
	1150	46	CRB46	75634	9.5
	1300	52	CRB52	75635	10.8
	1450	58	CRB58	75636	12.0
	1600	64	CRB64	75775	13.2
	1750	70	CRB70	75773	14.5

搬送物を通る幅に合った注文ブレード幅:
ベルト幅 - 50mm、ベルト幅 - 200mmまたははベルト幅 - 350mmの3種類からお選びください。
米国出荷:1営業日

交換用高温対応Conshear™ブレード (色識別:黄色)

ブレード幅		注文番号	品目コード	重量 Kg
mm	In.			
250	10	CRB-HT10	76593	2.2
400	16	CRB-HT16	76594	3.4
550	22	CRB-HT22	76595	4.7
700	28	CRB-HT28	76596	6.0
850	34	CRB-HT34	76597	7.3
1000	40	CRB-HT40	76598	8.7
1150	46	CRB-HT46	76599	9.9
1300	52	CRB-HT52	76600	2.2
1450	58	CRB-HT58	76601	12.5
1600	64	CRB-HT64	76602	13.8
1750	70	CRB-HT70	76603	15.1

U.S. Patent No. D482,508S



セクション 10 – その他のFlexcoコンベヤ用製品

Flexcoは、コンベヤをより効率的かつ安全に稼働させるためのコンベヤ製品を数多く提供しています。これらの製品により、コンベヤのよくある問題を解決し、生産性を向上させることができます。その中からいくつかを簡単にご紹介します。

MSP ヘッドクリーナー



- 特許取得のConShear™ブレードは、磨耗に応じて刃先を更新します
- Visual Tension Check™ (ビジュアルテンションチェック) により、最適なブレードの張力調整と簡単な再張力を実現
- 迅速で簡単な1ピンのブレード交換 最適なクリーニングとメンテナンス軽減のためのMaterial Path Option™ (搬送物が通る幅用のサイズオプション)

EZS2 セカンダリクリーナー



- 長寿命のタングステンカーバイドブレードで優れたクリーニング効率
- 特許取得済みのFormFlex™クッションが、各ブレードをベルトに個別にテンションをかけ、安定した一定のクリーニングパワーを実現
- 取り付けが簡単で、修理も簡単
- Flexcoのベルトファスナーに対応

Flexco 特殊ベルトクリーナー



- 狭いコンベヤ用途の省スペースクリーナー
- 過酷な高熱用途向け高温クリーナー
- シェブロンベルトや 起毛リブベルト用のラバーフィンガークリーナー
- 腐食に強いステンレススチール製クリーナー

DRX™ インパクトベッド



- 独自の速度低減技術™により、ベルトをよりよく保護
- スライドアウトサービス™で、すべてのインパクトバーに直接アクセスし、交換が簡単
- インパクトバーの寿命を延ばすサポート
- 4つのモデルで、アプリケーションに合わせたカスタムフィット

PT Max™ ベルトトレーナー



- 特許取得の「ピボット & チルト」デザインにより、優れたトレーニングアクションを実現
- 両サイドのデュアルセンサーローラーにより、ベルトの損傷を最小限に抑えます
- 固着や凍結の心配がないピボットポイント
- キャリヤ側とリターン側のベルトに使用可能

ベルトプラウ



- テールプリー用ベルトクリーナー
- 独自のブレード設計により、ベルト上の堆積を素早くスパイラル状に取り除きます
- 経済的でメンテナンスが簡単
- 斜めまたは斜めのモデルが利用可能

